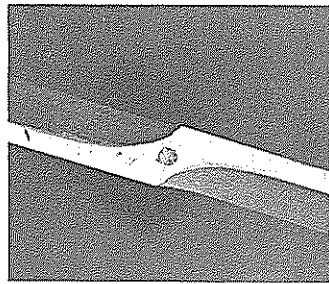




これはなんでしょう



答えについての思い出などもお待ちしています。

■しめきり 4月20日

■あて先 〒783 南国市大

埔甲二三〇一 南国市役所 広

報委員会 親子クイズ係

■答えのハガキには必ず、住所、氏名、年齢、職業を書いてください。

■賞品 正解者の中から抽選で五人に図書券を進呈。

第203回当選者発表(敬称略)

(応募総数18通)

篠さやか(稲生)、沢田茜(大埔)、岡林美喜子(東崎)、北内克明(岡豊町)、浜田昇秀(明見)

◎第203回親子クイズの答えはヨヨーでした。

お便りの中から皆さんの思い出の一部をご紹介します。

○北村光良(小竜)

私たちの子供のころはこれがよくはやって、友達とよく遊びました。

○河地信哉(駅前町)

小学生のときには、妹も僕も自分のヨヨーを持っていました。それはアメリカンヨヨー

というもので、そのとき初めてアメリカでもヨヨーをするのを知りました。

○沢田茜(大埔)

テレビなどで犬の散歩をヨヨーでやっている人がいて、思わず「上手だなあ」と、思ったりします。まねをしてやってみましたが、なかなかうまくいかないものでした。

○岡林美喜子(東崎)

思い出といえばスケパン刑事のまねをよくこれでした。ともありました。

○小野寺桃子(成合)

うまくまわせたことがあります。くやしいなあ。

あゆみ 家庭のない家族

家庭教育学級専任講師 田植 静代

家族がいても家庭のない家が多くなってきたと言われています。

例えば両親、娘、息子の家族構成の家があります。父親はただ仕事一筋の男で帰宅も遅く、家族とめつたにかかわりません。母親は外交好き、趣味の会、何々の会とかいって年中出歩き、家に落ち着いていることが少ないのです。

娘はOLで息子は高校生、家に帰れば両親のいない食卓で各自かつてに食事を済ませ、それぞれ自分の部屋に閉じこもってしまっています。

息子は個室で一人ロックの音楽に聞き入り、娘は友人との長電話やテレビに見入って時を過ごします。

この家族の顔を合わせる時は朝の十数分間、皆それぞれに慌ただしく、休日でも各自かつてな行動で落ち着いただんらんの一時はありません。

ある小学生の嘆き

〇〇のおじいさん、この間は学校に来てくださって、僕たちに昔の遊び道具の作り方を教えてくれて、ありがとうございました。

おじいさんの家の家族は何人ですか。僕の家はおばあちゃん(病院へ入院中)、お父さん、お母さんと僕の四人家族です。僕が学校から帰るとお母さんはすぐに、

早く塾へいきなさいといひます。そして、お母さんはママさんバレーにいくから、夕御飯は塾から帰ったら一人で冷蔵庫の中のもの食べておきなさいといひます。お父さんは帰りがおそいし夜は大体僕一人ぼっちで、とても寂しいのです。

家族というものは、家族みんながいつしよにいて、交流し合っていくうちに作り出されるものです。

温かい母の笑顔、頼もしい父の態度、優しい祖父母のかかわり、けんかしたり仲よしになったりの兄弟姉妹たち、これらの家族が互いに認め合い助け合ってこそ、良い家庭が生まれるのです。

高度経済の成長に伴い物は豊かになり、家族は各自個室を持つようになってきました。家は自分の身体を休め自由の時間を持つ場となり、まるでホテルのようです。

家族の個々は自己の権利と自由を主張します。それが幸せな生活と想うのです。核家族化してこの傾向は更に進みました。

家族は物の豊かさや自己中心だけの願いを求めるのではなく、豊かな精神的なつながりを持った家庭を作っていきたいものです。

一年間この「あゆみ」をお読みくださってありがとうございました。